

## 新型コロナウイルス対応緊急支援助成 事業計画

<b>申請事業名(主)</b>	福島の子ども・若者をコロナ禍から守る
<b>申請事業名(副)</b> <small>※任意</small>	心身の健康を守るための取組みを支援

入力数 主 18 字 副 17 字

<b>申請資金分配団体名</b>	一般財団法人ふくしま百年基金
------------------	----------------

<b>休眠預金事業への採択/申請歴</b>	<input type="checkbox"/> 2019年度資金分配団体に採択	<input type="checkbox"/> 2019年度実行団体に採択	<input type="checkbox"/> 2020年度資金分配団体(通常枠)に申請検討中	<input checked="" type="checkbox"/> なし
	<input type="checkbox"/> 第1期コロナウイルス対応緊急助成に複数事業で申請			

**優先的に解決すべき社会の諸課題**

領域	分野
<input checked="" type="checkbox"/> 1) 子ども及び若者の支援に係る活動	<input checked="" type="checkbox"/> 1)-①経済的困窮など、家庭内に課題を抱える子供の支援
	<input checked="" type="checkbox"/> 1)-②日常生活や成長に困難を抱える子どもと若者の育成支援
	<input type="checkbox"/> 1)-③社会的課題の解決を担う若者の能力開発支援
<input type="checkbox"/> 2) 日常生活又は社会生活を営む上での困難を有する者の支援に係る活動	<input type="checkbox"/> 2)-④働くことが困難な人への支援
	<input type="checkbox"/> 2)-⑤社会的孤立や差別の解消に向けた支援
<input type="checkbox"/> 3) 地域社会における活力の低下その他の社会的に困難な状況に直面している地域の支援に係る活動	<input type="checkbox"/> 3)-⑥地域の働く場づくりの支援
	<input type="checkbox"/> 3)-⑦安心・安全に暮らせるコミュニティづくりへの支援

<b>上記以外 その他の解決すべき社会の課題</b>	<input type="checkbox"/>	
--------------------------------	--------------------------	--

入力数 0 字

<b>実施時期</b>	2020年 7月 ~ 2021年 11月	<b>事業対象地域</b>	全国 <input type="checkbox"/> 特定地域 <input checked="" type="checkbox"/> ( 福島県 )	<b>事業対象者： (事業で直接介入する対象者と、その他最終受益者を含む)</b>	新型コロナウイルス感染症拡大の影響で心身の健康が蝕まれている子ども・若者	<b>事業対象者人数</b>	1,000名
-------------	----------------------	---------------	---	---	--------------------------------------	----------------	--------

**I. 団体の社会的役割**

<b>(1) 申請団体の目的</b>	この法人は、2011年(平成23年)に発生した東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所事故により甚大な被害を受けた“ふくしま”の復興と再生、さらには未来志向の地域づくり、地域の活性化等に取り組む組織等に対し、市民の志に基づく寄付等を原資とした活動資金等の社会資源の仲介や、組織運営に関する技術支援等を行なうことを通じて、成熟した地域活動が世代を超えた未来を見据えながら、市民の視点で豊かな“ふくしま”の形成に寄与していく社会を創ることを目的とする。
<b>(2) 申請団体の概要・事業内容等</b>	設立準備過程において福島県内全59市町村での座談会・ワークショップによるヒアリング、シンポジウム開催等を通じて福島県内での寄付文化創造に務め、約200名・団体の設立発起人からの寄付約700万円を基に設立された <b>【主な事業内容】</b> ・福島県内NPO等を対象とした遺贈寄付研修 ・福島県内NPO等及び企業を対象としたSDGs調査 ・スモールスタート支援事業(福島県内でのソーシャルビジネス起業支援事業) ・わかものチャレンジプロジェクト(高校生・大学生による復興支援活動への資金助成事業) ・ふくしま台風19号災害支援基金(災害復興支援を行なうNPO等への資金助成事業)

入力数 (1) 225 字 (2) 282 字

**II. 事業の背景・社会課題**

<b>新型コロナウイルス感染症により深刻化した社会課題</b>	新型コロナウイルス感染症(以下、感染症)拡大は、とりわけ子ども・若者や生活に困難を抱える人々に深刻な影響を与えている。子どもの電話相談を受け付ける「チャイルドラインふくしま」が今年4月に受け付けた相談は倍増しており、2019年の15,375件に対し2020年は27,500件となっている。「勉強や体力への不安」「(不規則な生活で)昼夜が逆転してしまったことによる不眠」「友達関係の悪化」などの相談が多いという。  また、身体的健康に与える影響も深刻である。福島県では東日本大震災及び福島第一原発事故(以下、震災)後、放射能汚染への不安から子どもたちが屋外活動を制限された影響で、子どもの肥満率が高まったとの調査結果がある(2012年、文部科学省調査)。この数年間の取組みによって改善傾向にあったが、感染症拡大を防止する観点から在宅で過ごす時間が増えたり、震災後に活性化した自然体験教室や室内遊び場が閉鎖される状況になったりするなどし、子どもたちは十分な身体的活動を担保できない状況が続く。  福島県内では震災後にチャイルドライン2団体の他、「ふくしまこども食堂ネットワーク」「福島市子ども食堂NET」「子どもが自然と遊ぶ楽校ネット」「こおりやま子ども若者ネットワーク」等の子ども・若者支援団体系ネットワークが結成され、孤立防止や肥満防止等の活動をしてきたものの、感染症拡大の影響から活動を縮小または休止する団体が少なくない。こうした団体を支援し、その先にいる子どもたちや困難を抱える人たちの心身の健康を守ることが急務となっている。相談窓口、食料・物資支援、アウトリーチ、自立伴走支援、居場所支援、健康維持・促進活動など、様々な活動分野の団体がケース(具体的案件)やノウハウ、資源を持ち寄って、地域内の支援キャパシティを向上させる方策も取り入れて取り組む必要がある。
---------------------------------	--

入力数 782 字

III.申請事業

(1)申請事業の概要	
<p>感染症拡大の影響を受けて心身の健康に不調をきたし、日常生活や成長に困難を抱える福島県内の子ども・若者を守り、その育成支援のための活動を実施している、あるいは計画しているNPO等の民間非営利団体を公募し、当該活動を実施するための資金を助成する事業を実施する。公募に際してオンラインによる公募説明会を開催する他、採択団体に対しては事前評価・事後評価、月次進捗確認等の伴走支援を実施する。なお、感染症拡大の長期化、第2波・第3波の影響による支援ニーズの変化等に可能な限り対応する必要があることから、公募は時期をずらした2回に分けて実施し、各回5～10団体程度を採択し支援する計画である。</p>	

入力数 290 字

(2)活動(資金支援) (実行団体の活動想定)	時期
子ども・若者の支援ニーズをアウトリーチし、困窮世帯の子ども・若者を守るための「子ども食堂」や「フード・パントリー (宅配)」事業	2020年8月～2021年10月
子ども・若者の心理的ストレスケアを図るとともに、重篤な心理状態にある子ども・若者を早期に発見するための相談事業	2020年8月～2021年10月
子ども・若者の身体的健康を向上し、肥満状態や不活性状態を解消するための自然体験や体操教室等の事業	2020年8月～2021年10月
上記事業を実施するにあたって、感染症拡大を予防するための措置を導入するための事業	2020年8月～2021年10月

(3)活動 (資金分配団体による伴走支援)	時期
事前評価の実施支援	2020年8月頃、2020年11月頃
事後評価の実施支援	2021年8月頃、2021年11月頃
月次の実施状況確認と事業実施に関する助言等	2020年8月頃～2021年10月頃
事業の実施状況・取り組み事例の共有に資する情報公開等	2020年8月頃～2021年11月頃
上記を基本とし、必要に応じてオンライン面談を活用する等、感染症拡大防止に務める	

(4)今回の事業実行を通じた目標	実施・到達状況の目安とする指標	把握方法	目標値/目標状態	目標達成時期
・経済的困窮世帯の子ども・若者500名が「子ども食堂」等の支援にアクセスしている	・「子ども食堂」の被支援者数	・被支援者数のカウント	・被支援者数500名	・2021年10月
・より多くの子ども・若者が相談窓口や居場所、健康維持活動等にアクセスしている	・相談窓口や居場所、健康維持活動等のキャパシティ (参加のべ人数) の増加率	・参加のべ人数の事前・事後比較	・50%増加	・2021年10月
・支援団体間の連携がこれまで以上に促進され、協働で子ども・若者等の支援にあたっている	・支援者で構成される情報共有会議での共有ケース数増加	・共有ケース数のカウント	・共有ケース数20	・2021年10月

(5)事業実施後 (1年後) 以降に目標とする状態
<p>福島県内の子ども・若者のべ1,000名について、感染症拡大の影響による心身の健康における悪影響が緩和され感染症拡大が始まる以前の水準に戻り、日常生活や成長における困難が一定程度解消されている状態を目標とする。また当該目標を達成する過程において複数の支援団体の連携が促進され、協働で課題解決や活動の高度化に取り組むことによって、福島県内の支援団体がこれまで以上に持続可能となることも目標とする。</p>

入力数 196 字

IV.実行団体の募集

(1)採択予定実行団体数	20団体	(2) 1 実行団体当たり助成金額	200万円を10団体、500万円を10団体に助成予定
(3)申請数確保に向けた工夫	<p>「ふくしま子ども食堂ネットワーク (27団体加盟)」「福島市子ども食堂NET (11団体加盟)」「子どもが自然と遊ぶ楽校ネット (10団体加盟)」「こおりやま子ども若者ネット (13団体加盟)」「こおりやま災害支援ネットワーク (26団体加盟)」「ふくしま連携復興センター (約150団体加盟)」等の子ども・若者支援団体系ネットワークや社会的弱者支援団体系ネットワークに対して、申請を呼びかけるとともに、県内の各中間支援組織が有するネットワークを活用し、広報活動を実施する。また、オンライン公募説明会を複数回 (平日昼、夜、休日など分けて開催することのできるだけ多くの方が参加しやすい形式とする) 開催するとともに、希望する団体に対してはオンラインによる個別相談を実施する。</p>		
(4)予定する審査方法 (審査スケジュール、審査構成、留意点等)	<p>感染症拡大の長期化、第2波・第3波の影響による支援ニーズの変化等に可能な限り対応する必要があることから、公募は時期をずらした2回に分けて実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回公募：2020年7月公募、8月採否決定→実行団体により支援開始 (主に第1波の影響下にある子ども・若者のケアを優先)</li> <li>・第2回公募：2020年10月頃公募、11月採否決定→実行団体による支援開始 (主に第2波・第3波に備えた子ども・若者のケアを優先)</li> <li>・審査員：学識経験者2名程度 (子ども・若者・生活困窮者等の課題に関する有識者)、NPO経営者2名程度 (NPO等民間非営利団体の経営に関する有識者)</li> <li>・審査方法：事務局による事前ヒアリングを経て、審査員4名による採点、及び陪席 (感染症の状況をみてオンラインも検討) による審査会を開催して決定</li> <li>・審査基準：団体の信頼性、これまでの活動実績、内容の適格性、計画の妥当性・実現可能性、緊急性等を基準とし、総合的に評価する</li> </ul>		

V.事業実施体制

(1)メンバー構成と各メンバーの役割	<ul style="list-style-type: none"> <li>・代表理事（1名）：全体統括</li> <li>・プログラムオフィサー（1名）：主担当者として、公募・事前相談・申請取りまとめ・伴走支援等の一連の業務を実施する</li> <li>・補助員（1名）：プログラムオフィサーを補助し、バックオフィス業務を担う</li> </ul>
(2)他団体との連携体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県内各地の中間支援団体・NPO支援センター等（14団体）：事業広報、実行団体の候補となる団体についての情報提供等について協力いただく予定</li> <li>・ふくしま評価研究会（インパクトマネジメントの研究及び実装を目的とした任意団体）：実行団体の事前・事業評価や目標設定等についてアドバイスをいただく予定</li> </ul>
(3)想定されるリスクと管理体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業実施にあたっての感染症拡大防止について、厚生労働省や福島県が出している感染防止措置に関する情報等を実行団体に周知・徹底する（メールや月次進捗確認時の通知、及び各実行団体の申請事業により個別に感染症拡大防止措置を指導）</li> <li>・助成金の不正利用や目的外利用の防止について、月次の進捗管理にて適宜帳簿を確認する等の措置を実施する</li> <li>・資金分配団体としての当財団内での不正防止について、内部通報制度を早期に確立する</li> </ul>

VI.関連する主な実績

<b>(1)休眠預金以外の助成・補助金活用の有無</b>				
<b>①コロナウイルス感染症に係る事業</b>				
本申請事業について、コロナウイルス感染症に係る助成金や寄付等を受け助成金等を分配している(予定も含む)	有 <input type="checkbox"/>	無 <input checked="" type="checkbox"/>	有の場合 その詳細	
本申請事業について、国又は地方公共団体から補助金又は貸付金（ふるさと納税を財源とする資金提供を含む）を受けていない。	無 <input checked="" type="checkbox"/>	※有の場合、選定の対象外となります（公募要領：助成方針参照）		
本申請事業以外の事業について、コロナウイルス感染症に係る助成金や寄付等を受け助成金等を分配している(予定も含む)	有 <input checked="" type="checkbox"/>	無 <input type="checkbox"/>	有の場合 その詳細	大学生に対する食事支援事業への助成事業 (予定)
<b>②その他、助成金等の分配の実績</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年東日本台風（台風19号）の被災に関連し、現在までのところ2回に亘る公募を実施し、のべ14団体に2,966,280円の助成金分配を実施した（ふくしま台風19号災害支援基金）</li> </ul>				
<b>(2)申請事業に関連する調査研究、連携、マッチング、伴走支援の実績、事業事例等の実績</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症拡大に伴う子ども・若者等への影響について、福島県内の複数の子ども支援団体ネットワークや子どものための相談機関、及び中間支援団体等にヒアリング調査を実施している</li> <li>・課題分析や資金分配団体としての事業設計について、福島県内の複数の中間支援団体等と任意の勉強会を開催し、検討を実施している</li> </ul>				